

JIA 建築家大会 2018 東京 協力会員サミット

テーマ

「J I Aと強くなる」

日時：2018年9月15日（土）9：30～12：00

場所：明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1155 教室

◇ 協力会員サミット 次第 ◇

【開催日時】 2018 年 9 月 15 日（土） 9：30～12：00

【開催場所】 明治大学 駿河台キャンパス リバティタワー1155 教室

【総合司会】 関東甲信越支部 石津・山根

- | | |
|-----------------------|---------------|
| 1. 席順誘導 | 9：30 ～ 9：40 |
| 2. 総合司会挨拶及び説明 | 9：40 ～ 9：50 |
| 3. 第1回討議（まとめ） | 9：50 ～ 10：10 |
| ・ 席替え | 10：10 ～ 10：15 |
| 4. 第2回討議（まとめ） | 10：15 ～ 10：35 |
| ・ 休憩、席替え | 10：35 ～ 10：50 |
| 5. 第3回討議（まとめ） | 10：50 ～ 11：10 |
| 6. 各テーマ／総合まとめ | 11：10 ～ 11：20 |
| 7. 各テーマ／発表（1テーマ／6分×5） | 11：20 ～ 11：50 |
| 8. 感想ヒアリング及び総評 | 11：50 ～ 12：00 |

【北海道支部】

記入者：北海鋼機 株式会社 佐藤 正人

■ 2018 年度 各支部の法人協力会員の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
法人協力会定時総会 正会員との意見交換会	5/9	協力会員 正会員・協力会員		・事業報告及び決算報告、役員改選。 ・懇親会
建築巡回展（函館）	5/15-20	正会員・協力会員 ・一般		・セミナー開催（6 社）、カタログ展示。
役員・専門委員会合同会議 法人協力会意見交換会	6/15	協力会員 協力会員		・年度行事の確認、スケジュール、役員・専門委員との意思疎通を図る。 ・事前アンケート回答に基づき、協力・正会員へ要望、評価について意見交換。
ゴルフ大会	7/21	正会員・協力会員		・諸事情により中止。 （年 2 回開催、1 回目協力会、2 回目正会員主催）
正会員役員・協力会委員会との意見交換会	7/31	正会員役員・協力会委員、協力委員会役員		・6 月 15 日の法人協力会意見交換会の結果報告。
納涼ビール会	8/3	正会員・協力会員		・事務所スタッフ参加可能（96 名参加）
第 8 回法人協力会合同セミナー 商品説明会 商品展示	9/21	正会員・協力会員		・複数 CPD 認定プログラムセミナー、商品展示説明会。 （事務所スタッフ参加可能） セミナー後、意見交換会。 ・商品説明は 2～3 ヶ月に一度、正副委員長会議前に開催（年 5 社程度）。 ・事務局内に商品展示スペース。
スタッフ勉強会	11 月	協力会員		年 1 回定期開催（事前に希望内容のアンケートにて 2～4 テーマでの勉強会）。若手スタッフの育成と将来の JIA 加入を図る。実務担当者と協力会員、スタッフ同士の交流を深める為に開催（正会員参加不可）。
ボーリング大会	11 月	正会員・協力会員		正会員との交流、親睦。 （事務所スタッフ参加可能）
新年交礼会	1/17	正会員・協力会員		正会員との新年交礼会。
適時				正会員との打合せにより、単年・通年行事追加予定あり。

■ 支部における問題点

- ・正会員、法人協力会員の会員数の減少。
- ・正会員の高齢化（若手の減少）。
- ・正会員、法人協力会員の行事参加者の固定化と減少。
- ・今年度より、正会員組織改正で協力会委員会（協力会と連携した社会奉仕事業の企画、運営）を設置、今後、両者の問題点、運営方法等々正会員役員を含め検討する。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
北海鋼機 株式会社	佐藤 正人
ピーエス 株式会社 北海道支店	弘田 七重
エスケー化研 株式会社 札幌支店	氣田 武史

【東北支部】

記入者：サンボット 株式会社 仙台営業所 山本 博

■ 2018 年度 各支部の法人協会員の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
各地域会 協力会 セミナー (CPD 登録業務)	7/21 (岩手) その他各県	正会員 中心 一般	なし 懇親会費 ¥5,000-	地域会の例会に合わせ、例会の前後に、協力会のセミナーを30分2社で行ないました。終了後は正会員と交流を図る懇親会を開催。(各地域会との協同) ○正会員との交流に効果あり。
ボウリング大会	7/20 (仙台)	各全員	¥6,000-	32回を数えるボウリング大会とその表彰式を兼ねた懇親会を開催し、本年も100名を超える参加をいただき、大好評でした。(宮城地域会と共催)
JIA 東北建築学生賞の参加	10/19 (仙台)	全員	—	協力会も運営全般並びに本審査員と協力会特別賞審査員として参加しています。(東北支部と協同)
JIA 東北建築学生 テクニカル・セミナー の参加	11/29 (仙台)	全員	—	上記学生賞の入賞作品を題材として、協力会メーカーの提案を行い、発表を行う。入賞作品の学生も参加することで、学生・正会員・協力会の交流が図られ、好評です。
協力会各社が 委員会に所属。 月1回の活動会議	月1回 (仙台) 支部事務局 にて	協会員	—	協力会全社が、各協力会の活動の礎である委員会に属し、協力会の年間の活動の会議を行いながら、各活動に参加しています。 (委員会として社会貢献室、組織管理・会員サービス室の2委員会を設置) ○協力会同士の交流に効果あり。
みやぎボイス 2018 の協力	9/2 (仙台)	一般 正会員 協会員	—	東日本大震災後の震災復興シンポジウム。当日の協力や前日の準備、終了後の会場撤収。
JIA 東北各地域会・協力会 対抗芋煮大会の参加	10/13 (山形)	正会員 協会員 その他	—	東北6県各地域会と協力会にて各芋煮鍋を用意し、味を競い合う大会。 ○会員、家族、一般の交流に効果あり。 (山形市内にて開催) (東北支部・山形地域会・協力会協同)
JIA 東北支部 新年会の協力	1/18 (仙台)	正会員 協会員	¥6,000- (予定)	東北6県の正会員と協会員にて新年会をおこなっております。100名以上の参加で楽しく行っております。(くじ引きで景品等用意)
第12回 JIA 東北住宅 大賞 2018 公開1次審査会の開催 協力と協力会コーナー 展示でのPR	11/17-18 (福島)	正会員 協会員 その他		東北住宅大賞は東北支部主催の住宅設計作品の展示を行い、大賞等を決定するイベントです。毎年、この1次審査は公開形式で行われており(今回は福島市で開催)、その中で協力会展示するコーナーも設置され、PRを行っております。
JIA 建築家大会 2019 弘前準備委員会への 参加	月1-2回 (仙台) (弘前)	正会員 協会員		JIA 建築家大会 2019 弘前への準備で協力会役員も会議に毎回参加しております。

■ 支部における問題点

◎東北支部は東北6県にわたるため、協力会も仙台周辺の活動が中心となってしまうのですが、ここ近年は協力会セミナーを各県にあります地域会と企画し、各県にて行い、仙台より遠い東北北三県でも行うようになってきたが、他の支部の協力会で遠方の場所の地域の正会員との交流はどのようにまた年どのくらい行っていますか。教えてください。

◎協力会セミナー(協力会各委員の商品等のPR)を実施していくうえで、東北支部は一般的なセミナー(講義タイプ)として行っておりますが、もっと面白い企画、および内容でおこなっているところがあれば、教えてください。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
サンポット株式会社	山本 博
中村物産 有限会社	中村 充孝
トーソー 株式会社 東北ブロック	佐藤 浩
株式会社 三洋工業東北システム	小川 昌彦
	小林 勝志
有限会社 ガルボ空間工房	齋藤 健太郎

【関東甲信越支部】

記入者：株式会社 IAO 竹田設計 河野 剛陽

■ 2018 年度 各支部の法人協会の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
アルカジア東京大会 JIA 建築家大会 2018 東京	ACA 9/10-14 JIA 9/13-15	会員 準会員 協力会員 学生会員 一般		
JIA フレンズカップ	10/26	会員 準会員 協力会員 一般		親睦と交流の場として毎年開催 (千葉県市原市・姉ヶ崎カントリー倶楽部)
交流大会	3 月(未定)	会員 準会員 協力会員 学生会員 一般		様々な分野の方を講師にお迎えした講演会
グループ会議 各種イベント				各グループ毎に定例グループ会議、ゴルフコンペや建物・施設見学会、講演会・セミナー・勉強会等を個別、他のグループ合同、部会との合同で企画実施

■ 支部における問題点

当支部は、協力会員を交流委員会で取りまとめており、正会員等との交流の場を提供していく活動をしております。昨年度から、検討していました、協力会員を支部の各委員会へオブザーバーとして参加していく活動を具体化していく話を進めていますが、なかなか双方の理解が得られていません。協力会員側も、支部の委員会活動に参加するのは、意外と時間ととられるので、対応が難しい事態も出てきています。今後の検討事項としましては、協力会員が主導で、正会員に要望が出せる、対等に話し合える状況を作っていけないかと模索しています。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
[A] 株式会社 大建設	長坂 典和
[A] 前田製管 株式会社	大島 寛隆
[A] 日本ヒューム 株式会社	神田 健太郎
[A] 株式会社 ロブテックスファスニングシステム	川邊 裕一
[A] 株式会社 鹿島技研	石橋 寿夫、瀬戸 秀吉
[B] 株式会社 三菱地所設計	渡邊 顕彦
[B] 田島ルーフィング 株式会社	綿引 友彦
[C] 株式会社 IAO 竹田設計	河野 剛陽
[C] 株式会社 ニットー	日東 英成
[C] 株式会社 フッコー	杉山 成明
[C] 三協立山 株式会社	垂井 豊
[D] 株式会社 剣持デザイン研究所	長尾 俊夫
[D] 株式会社 日本設計	興 尉
[D] 株式会社 みんな村	田代 憲司
[D] 小松ウオール工業 株式会社	東 晃次
[D] 株式会社 スミノエ	清水 康之
[D] タキロンマテックス 株式会社	岡本 祐
[D] 東リ 株式会社	峰岸 昇
[D] ヒガノ 株式会社	古井 弘文
[D] 株式会社 ワイス・ワイス	佐藤 岳利、立石 博巳
[E] 株式会社 蒼設備設計	相野谷 誠志
[E] 株式会社 きんでん	若佐 明継
[E] ケイエスシステム研究所	重岡 公二
[E] 株式会社 中電工	石津 浩章
[E] パナソニック ES 防災システムズ 株式会社	山根 浩司、荒木 重孝
[F] 株式会社 ジェイアール東日本建築設計事務所	小内 實
[F] 三建設備工業 株式会社	渡部 芳博
[G] 深滝准一建築設計室	深滝 准一
[G] ウエルネス設計	古池 廣行
[G] 株式会社 建築ピポット	井出 哲也
[G] 建築資料研究社／日建学院	神島 絢也、杉原 隆史、谷田部 博光

【東海支部】（愛知地域会）

記入者：三協立山 株式会社 三協アルミ社 中嶋 慶一

■ 2018 年度 各支部の法人協会の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
JIA・愛知賛助会 総会	5/25 11:30-13:00 実施	全賛助会員	予算 10 万円 実績 13 万 3 千円	昨年度の活動実績報告及び今年度の事業計画 及び役員体制の説明 地域会役員を招いて交流昼食会 賛助会員 30 名+会員 8 名
JIA 愛知地域会 ゴルフコンペ 年 2 回開催	第 1 回 5/15 実施 第 2 回 11/8 予定	会員+ 賛助会	予算 30 万円 (/2 回)	会員 10 名+賛助会員 10 名 計 20 名参加 地域会会員と賛助会員との交流を目的
CPD 研修会 年 2 回実施	第 1 回 10/26 第 2 回 2-3 月予定	会員+ 会員所属 事務所若手 所員	予算 40~50 万円 (/2 回) 参加費 2 千円	環境・エコを主要テーマとして会員に向け協 力会員企業の最新商品技術情報等を発信 会員以外の若手所員の参加 研修会後に懇親会を開催
CPD 研修見学会 年 1 回開催	予定	会員	予算 30~40 万円 別途参加費 を徴収	賛助会単独事業から地域会の各委員会と共同 事業として開催 賛助会員企業の工場等の視察+周辺の建築物 視察研修
懇親ボーリング大会	12 月予定	会員+ 会員所属事 務所所員+ 賛助会	予算 25 万円 会費 2 千円	会員+所属の所員、ご家族の参加有り
新年会 商品 PR 展示会	2019 年 1/18 予定	会員+ 賛助会員	予算 90 万円 別途参加費 を徴収	賛助会主催、商品 PR 展示会開催 他、名刺交換会実施 会員との交流及び賛助会企業の商品 PR の場
暑気払い 商品 PR 展示会	2018 年 8/10 実施	会員+ 賛助会員	予算 会場費 3 万円	愛知地域会主催 商品 PR 展示会同時開催 名刺交換会実施 会員との交流及び賛助会企業の商品 PR の場
設計競技支援 ①東海住宅建築賞 ②東海学生卒業設計 コンクール ③東海支部建築設計 競技	①12 月 ②3 月 ③10 月	会員+ 学生	各競技 10 万円 支援	愛知地域会主催
その他支援 建築家フェスティバル	10 月予定	一般市民		参加型イベントを通して、一般市民に対して JIA の存在を PR する事業の支援

■ 支部における問題点

① 賛助会費の件

年会費 10 万円+賛助会費 4 万円の他、支部会報誌への広告料 2.5 万円。

法人協力会員のメリットとして、正会員と協力会員企業のつながりが深まるよう、ゴルフ、ボーリング等の交流事業や名刺交換会、名刺シール作成による営業活動の補助。

法人協力会員企業の商品が図面スペックされるよう CPD 研修や商品 PR 展示会等を開催し

又、営業品目一覧表を作成し、正会員へ配布して、会員企業の採用を促している。

多くの事業を企画し実施していると思うが、毎月の役員会も含め役員の負担が大きい。

② 法人協力会員の減少

今年度に入り、52 社から 49 社へ 3 社減となっている。

退会理由は会社の方針ということですが、会費負担が理由のひとつにあるようです。

メリットを見出すように役員企業の献身的な協力のもと年間事業を企画、実行しているが事業に参加されない会員企業も多くあり、全ての会員企業に賛助会としての活動が理解されているとはいえないのが現状。

③ 法人協力会事業参加企業の固定化

上記の事業を実施しているが、参加企業が固定されている。

活性化を図るため、各事業の案内と同時に役員が分担し会員企業に直接事業への参加を呼びかけている。

全会員企業の参加が目標だが、前述のとおりまだまだ道険し。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
三協立山 株式会社 三協アルミ社	中嶋 慶一
株式会社 エフワンエヌ 中部支店	上村 康夫
TOTO 株式会社 中部支社	四辻 一正
株式会社TJM デザインキッチンハウス名古屋店	山本 恵美
大光電機 株式会社	和田 信男
株式会社 ワーク・キューブ	吉元 学

【北陸支部】（石川地域会）

記入者：株式会社 山岸製作所 山岸 晋作

■ 2018 年度 各支部の法人協力会員の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
協力会員懇親会	7/21	協力会員	6,000 円	正会員の活動に積極的に参加するため協力会会員の親睦を深める。横のつながりを強め、参加率を上げるのが目的である。
ゴルフコンペ	5/9、10/13	正会員 協力会員	10,000 円	協力会員が主催するゴルフコンペ。2018 年度からスタートした。正会員との絆を深めるのが目的である。
忘年会	2017 年 12/9	正会員 協力会員	7,000 円	忘年会を主催した。今までは正会員の主催だったが、協力会員が主催することにより幹部メンバー間の一層コミュニケーションを深めることができた。

■ 支部における問題点

1. 正会員の活動状況に引っ張られてしまう。
正会員の活動に元気がなくなると同時に協力会員も動かなくなってしまう。
2. 一部の協力会員のみで運営している。横の広がりが希薄になっている。
3. 協力会員独自のビジネスにつながる企画がない。例：商品紹介勉強会など

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
株式会社 山岸製作所	山岸 晋作
北菱電興 株式会社	石野 哲也

【近畿支部】

記入者：大光電機 株式会社 本多 雅親

■ 2018 年度 各支部の法人協力会員の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
交流事業	2018 年 9 月、11 月	正会員と 事務所所 員、協力 会員	250,000 円	9 月納涼ビアパーティ、11 月ボーリング大会 開催。 正会員と協力会員の交流会。
施設見学会	2018 年 9 月 21 日	正会員と 事務所所 員、協力 会員	100,000 円	バスをチャーターしての積水樹脂株式会社の 滋賀工場見学会。 広く知識を習得する為の勉強会。
協力会員基金事業協賛	2018 年度	正会員	300,000 円	正会員が企画する公益性のある事業に対して の協賛。 1 案件 1 口 3 万円で最大 2 口までの支援。
C P D 勉強会	2018 年度	正会員と 事務所所 員	80,000 円	協力会員による C P D 取得のための勉強会。 主に事務所所員が対象で J I A への加入を促 す。
正会員との合同忘年会	2018 年 12 月	正会員と 協力会員	50,000 円	正会員との共催で会員間の交流を目的とす る。

■ 支部における問題点

正会員・協力会員共活動している人たちが限定されている。
幽霊会員がともに多い。
協力会員は特に横の繋がりが少ない。
各企業の担当者がわからない。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
大光電機 株式会社	本多 雅親
清水樹脂 株式会社	根来 正弘

【中国支部】

記入者：大光電機 株式会社 中四国支店 松永 高雄

■ 2018 年度 各支部の法人協力会員の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
交流部会技術講演会	4/3	正会員 交流部会	0	三和シャッター工場見学会
支部総会セミナー	5/21	正会員	0	支部総会での技術セミナー
Creative Joint Seminar 岡山	6/29	正会員 一般	100,000 円	建築セミナー『西沢立衛セミナー』にて 300 名への講演会。
会員名簿発刊 2018	9 月予定	正会員 交流部会	200,000 円	写真付き会員名簿を発刊
Creative Joint Seminar 広島	12 月予定	正会員 一般	100,000 円	建築かセミナー、300 名予定

■ 支部における問題点

- ・正会員の多くが各会への参加が無い為、繋がりが取りにくい
- ・交流部会の会員数は増えてきているが、正会員の高齢化と数の減少にて PR 出来る絶対数が少
- ・交流部会の地域会員・支部会員の区分け及び連携が不足している。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
大光電機 株式会社 中四国支店	松永 高雄

【四国支部】

記入者：宮地電機 株式会社 佐竹 英和

■ 2018 年度 各支部の法人協力会員の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
支部としての活動は、例年の JIA 四国支部大会への参画のみとなります。	5/26(土)	JIA 四国支部各地域会の正会員様		協力会員は、高知地域会と愛媛地域会が主催する総会、忘年会、新年会などに参加させていただいてますが、支部としての主体性のある企画や活動は実施しておりません。

■ 支部における問題点

・1.JIA 四国支部としては、ホームページで「四国で一つにまとまるのではなく、各県の地域会の活動を重点においた運営を行う」とある。実際の活動方法としては地域で活動するので、四国支部協力会員と地域会の協力会員と分ける必要性がないように思われる。

2.毎年繰り返しているが入会だけではメリットが得られない。JIA と強くなれるよう関係を築いてゆくには正会員と接する場面や回数を如何に増やすかだと思う。正会員と協力会員との活動となると大掛かりな企画になりがちでお互いに負担もある。正会員の定例会へ参加して、新商品などを PR している一部の協力会員がいるように、現場見学会、セミナー、懇親会など、正会員が集まる場に積極的に参加してゆくことが有効と考える。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
欠席	スケジュールが重なり、出席者なしの予定で申し訳ございません。

【九州支部】（福岡地域会）

記入者：株式会社 ニシイ 西井 博文

■ 2018 年度 各支部の法人協会の活動および活動予定

活動名	開催日	対象者	費用	活動概要
JIA 九州支部 福岡地域会協会の 総会	H29,5,7	福岡 地域会 正会員、 協力会員	20 万円 10 万円 2 万円	協定会総会懇親会費用/八仙閣 67 名 マジックショー / RINTARO http://goo.gl/VuEBkT ゲームの景品としてクオカード 40 枚 参加費@3000 円/人
JIA 福岡地域会 納涼懇親ボーリング 大会	H29,8,6	福岡 地域会 正会員 協力会員	30 万円 3 万円	ボーリング大会・表彰式・懇親会 (博多スターレーン、東海苑) ゲームの景品としてクオカード 60 枚 参加費@1000 円/人 85 名 (正会員 23 名、協力会 62 名)
福岡デザイン レビュー支援	H29,5,30	大学生	5 万円	福岡で建築を学ぶ学生による発表会 「福岡デザインレビュー」支援
JIA 九州支部 福岡地域会忘年会	H29,11,25	福岡 地域会 正会員 協力会員	10 万円	忘年会の出し物としてチンドン屋を 提供 アダチ宣伝社 http://www.7b.biglobe.ne.jp/~adasen/
新商品紹介セミナー	H30,2,15	福岡 地域会 正会員 協力会員	5 万円 参加費： 15000 円 /各社負担	協定会企業による新商品セミナー 開催/福岡国際会議場 出展：16 社 

■ 支部における問題点

協会員は商品販売が入会目的であるので、正会員との交流による信頼関係の構築や新商品、新工法の説明の場を求めている。交流による信頼関係作りの為に協定会総会や忘年会に楽しいイベントを提供し参加者増を進め、結果、正会員、協会員ともに参加者が増えたことは成功と考えています。

納涼懇親ボーリング大会は正会員と正会員企業の若手実務者との交流の場として位置づけ開催を継続してきた。

H30 年 8 月大会は参加者 85 名 (うち正会員企業若手実務者含め 23 名) となりました。

協会員からの希望が多かった新商品紹介セミナーを本年 2 月 15 日に初めて開催、出展 16 社、正会員の参加者も 80 名を超え盛況でした。公平性を考慮し、会場費、案内チラシ費用として出展者から@15000 円/社を徴収、お茶代や不足分は協定会として負担。

■ 参加者名簿

会社名	担当者氏名
木下緑化建設株式会社	木下 浩市

JIA 建築家大会 2018 東京 協力会員サミット 出席者名簿

	支部	会社名	氏名
1	北海道	北海鋼機株式会社	佐藤 正人
2	北海道	ピーエス株式会社 北海道支店	弘田 七重
3	北海道	エスケー化研株式会社 札幌支店	氣田 武史
4	東北	サンボット株式会社	山本 博
5	東北	中村物産有限公司	中村 充孝
6	東北	トーソー株式会社 東北ブロック	佐藤 浩
7	東北	株式会社三洋工業東北システム	小川 昌彦
8	東北	大阪ガスケミカル株式会社	小林 勝志
9	東北	有限会社ガルボ空間工房	齋藤 健太郎
10	関東甲信越	株式会社大建設	長坂 典和
11	関東甲信越	前田製管株式会社	大島 寛隆
12	関東甲信越	日本ヒューム株式会社	神田 健太郎
13	関東甲信越	株式会社ロブテックスファスニングシステム	川邊 裕一
14	関東甲信越	株式会社鹿島技研	石橋 寿夫
15	関東甲信越	株式会社鹿島技研	瀬戸 秀吉
16	関東甲信越	株式会社三菱地所設計	渡邊 顕彦
17	関東甲信越	田島ルーフィング株式会社	綿引 友彦
18	関東甲信越	株式会社IAO 竹田設計	河野 剛陽
19	関東甲信越	株式会社ニッソー	日東 英成
20	関東甲信越	株式会社フッコー	杉山 成明
21	関東甲信越	三協立山株式会社	垂井 豊
22	関東甲信越	株式会社剣持デザイン研究所	長尾 俊夫
23	関東甲信越	株式会社日本設計	興 尉
24	関東甲信越	株式会社みんな村	田代 憲司
25	関東甲信越	小松ウオール工業株式会社	東 晃次
26	関東甲信越	株式会社スミノエ	清水 康之
27	関東甲信越	タキロンマテックス株式会社	岡本 祐
28	関東甲信越	東リ株式会社	峰岸 昇
29	関東甲信越	ヒガノ株式会社	古井 弘文
30	関東甲信越	株式会社ワイズ・ワイズ	佐藤 岳利
31	関東甲信越	株式会社ワイズ・ワイズ	立石 博巳
32	関東甲信越	株式会社蒼設備設計	相野谷 誠志
33	関東甲信越	株式会社きんでん	若佐 明継
34	関東甲信越	ケイエスシステム研究所	重岡 公二
35	関東甲信越	株式会社中電工	石津 浩章
36	関東甲信越	パナソニック ES 防災システムズ株式会社	山根 浩司
37	関東甲信越	パナソニック ES 防災システムズ株式会社	荒木 重孝
38	関東甲信越	株式会社ジェイアール東日本建築設計事務所	小内 實
39	関東甲信越	三建設工業株式会社	渡部 芳博
40	関東甲信越	深滝准一建築設計室	深滝 准一
41	関東甲信越	ウェルネス設計	古池 廣行
42	関東甲信越	株式会社建築ピボット	井出 哲也
43	関東甲信越	株式会社建築資料研究社／日建学院	神島 絢也
44	関東甲信越	株式会社建築資料研究社／日建学院	杉原 隆史
45	関東甲信越	株式会社建築資料研究社／日建学院	谷田部 博光

46	東海（愛知地域会）	株式会社ワーク・キューブ	吉元 学
47	東海（愛知地域会）	三協立山株式会社 三協アルミ社	中嶋 慶一
48	東海（愛知地域会）	株式会社エフワンエヌ 中部支店	上村 康夫
49	東海（愛知地域会）	TOTO 株式会社 中部支社	四辻 一正
50	東海（愛知地域会）	株式会社 TJM デザイン キッチンハウス名古屋店	山本 恵美
51	東海（愛知地域会）	大光電機株式会社	和田 信男
52	北陸（石川地域会）	株式会社山岸製作所	山岸 晋作
53	北陸（石川地域会）	北菱電興株式会社	石野 哲也
54	近畿	大光電機株式会社	本多 雅親
55	近畿	清水樹脂株式会社	根来 正弘
56	中国	大光電機株式会社 中四国支店	松永 高雄
57	九州	木下緑化建設株式会社	木下 浩一

共通テーマ J I Aと共に強くなる

サブテーマ

『働き方』『健康』『環境』『防災』『まちづくり』

まとめ

『働き方』グループまとめ

冒頭 A グループ長坂グループ長から「働き方改革」に伴う、建築業界全体の影響等の概要説明があり、参加したメンバーから以下の通り、課題と対策を述べて頂きました。

課 題

- 働き方改革に伴い、特に現場の施工関係者の高齢化、また、年金対策に伴う、社会保険加入義務化等により、一人親方的な職人さんが、建築現場で働き難くなっている。
- 社会保険加入義務化に伴い、不慣れな事務仕事もあり、一層仕事離れが進んでいる。
- 一方若手からも建築業界が不人気となり、就労人口的に高齢化している実態がある。
- 理数系を目指す学生も、賃金、残業、要求能力から、建築系を目指さず、電子、情報処理系を選択するようになってきている。
- 若い人は仕事に関して、人世代前よりドライになっている。社会的な使命感を持って仕事に取り組む等の姿勢も見られないように感じる。
- 法令順守の原則から、長時間労働もさせられないが、その分、管理職の負担が増えている。(管理職が残業している)
- 姉歯等の問題もあり、マスメディアが建築業界にネガティブなイメージを発信してきたことにより、若い人の建築関連業界での仕事志望も減少しているのではないかな？

対 策

- 労働力不足について
 - ①女性の活用（実際増えてきている）幼少のお子さんのいる方へサポート、周りの方々がコミュニケーションを充実させている。
 - ②あるゼネコン：女性の採用率2%→8%にアップ。女性の管理職を増やして男性社員の意識改革を促す。
- 若手の建築業界仕事志望者減少について
 - ①大学側が学部名を、「ソーシャルデザイン学部」「地域創生学部」等に替え、環境社会問題の視点から建築を捉え学ばせる手法を取り、応募数を増やし、人気もある。
 - ②建築検定を ASDO で推進しているが、それらを普及促進させ、小学校時代から建築に興味を抱ける仕組みを作っていくことも必要ではないかな？
- 長時間労働の問題について
 - ①既に建築現場での週休二日制の導入の推進運動が成されている。
 - ②ノー残業デーの実施。
- 専業設計士の立場低下について
欧米と比べての設計料の比較を踏まえ、既に国土交通省からの算定基準もある。

以上

『健康』グループまとめ

他グループテーマも含んでしまう非常に広いテーマであったが、下記のような意見が出て、非常に有意義な会議となった。

○体の健康と心の健康、それぞれの面での取り組みとは何か？

◆体の健康

～正会員と協力会員が共に体を動かすことで「健康」を手に入れる～

- ・レクリエーション：ゴルフコンペ、登山、ボーリングなど

近年ゴルフ人口の減少や経費削減の波によって参加者減が目立つ。フットサルなどの楽にできるスポーツに取り組むことも考慮したらよいのではないかと？気軽に参加できるスポーツの提案も良いが、正会員・協力会員ともに交流できる「場」を設けることによって、スポーツの種別関係なく参加しやすい環境作りが大切である。

◆心の健康

- ・正会員と協力会員の距離感

正会員だけの会議や役員会に協力会員を参加させたらどうか？相互の距離感を近づけることによって、より健康的な組織作りが可能なのではないかと？

- ・コミュニケーション

正会員と協力会員の意見交換会（北海道支部では2年に1度実施）を行い、相互の意見を交わらせることができる「場」を設ける。

- ・働きやすい環境作り

近年、労働環境の改善やストレスフリーなど仕事環境の改善が取り沙汰されている。フリーアドレスや残業0デー、プレミアムフライデーなど多岐にわたる。ハード面・ソフト面においても「考えるものづくり」を実践し、正会員・協力会員による製品の開発をしても面白いのではないかと？

- ・世代間、異性間の距離

20代、30代、40代などの世代間、男性と女性などの異性間、それぞれの接し方が難しくなっている。とくに中間層や上司のストレスが大きい。成功事例などの情報発信をして、お互いにストレスなく接することができる術を共有できれば良い。

心と身体、両面の健康を取り入れる術を会員相互で交換し実践することで、JIAとともに強くなる組織作りが可能なのではないのでしょうか。

『環境』グループまとめ

さまざまな環境問題についての様々な議論がされました。

地球規模の大きな問題であることを確認し、世界・日本での取り組み、JIA での取り組み、会員各社の環境への取り組みや意見・思いを多く聞くことが出来ました。建築に関わる内容も多く興味深く話し合い、あっという間に時間が過ぎました。

以下、議題に上がった内容を報告させていただきます。

<世界>

アル・ゴア『不都合な真実』・・・2006年

地球温暖化の問題提起

京都議定書・・・1997年

SDGs (エスディーゼイズ) /持続可能な開発目標・・・国連の開発目標

今回のアルカジアACDテーマセッションでも

<日本での取り組み>

環境問題対策

- ・国（行政）による取り組み（環境法、排出規制、環境税、環境基準）制度化
省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会、環境保全
- ・企業や団体による取り組み
（環境技術の開発、ゼロ・エミッションの追求、リサイクル、3R など）
環境マネジメント（環境管理）
ビジネスチャンス（環境ビジネスや環境市場）
- ・草の根民活（カーシェアリング・エコバッグの使用）

<JIAの環境への取り組み>

JIA関東甲信越支部環境委員会

「Think global, Act local」

「グローバルな広い視野で考え、ローカルに行動する。」

JIA10 支部連携 JIA環境会議

20数団体連携の低炭素社会推進会議

2000年6月建築関連5団体による

・地球環境・建築憲章

5つの目標：長寿命・自然共生・省エネルギー・省資源・循環・継承

環境行動指針に沿ってさまざまな建築関連環境活動を行う（1999年5月～）

<会員各社の環境への取り組み>

環境商材、環境技術 省エネ・節電、省エネ照明、遮熱・断熱、空調設備 等々

以下、皆さんに記入していただいた短冊と発言の内容を列記します。

・**樹剣時デザイン研究所 長尾様** 木材の活用
国産材・・・価格の問題

・**樹蒼設備設計 相野谷様** 省エネ
室内温度設定 28℃ 空調
快適性とアンバランス

- ・(株)日本設計 興様 建築で出来ること
環境チャレンジ（日本設計の各現場で実施）
エネルギー削減目標 必達目標30%
エコ材料の選定・使用
木造一学校
- ・深滝准一建築設計室 深滝様 木造一木材の活用
地場材（杉）
流通の改革
- ・環境デザインアソシエイツ 中川様 CO2削減
間伐材の利用 集成材 林野庁からの補助金
- ・ゼロ・エミッション
省エネ
環境・・・制度化 F-○○○等 行政
アスベスト 外壁材 耐久性も重要
- ・(株)鹿島技研 瀬戸様
PC鋼製柱、建築金物
省エネ、廃材出さない
- ・トーソー(株) 佐藤様
遮熱・断熱技術・素材・製品の研究開発を行っています。
- ・(株)ワイスワイス（家具）佐藤様
グリーンカンパニー SFC認証
木材 サステイナブル調達
フェアウッド100%（クリーンウッド）
国産材80%⇒2020年までに100%
- ・サンボット(株) 山本様
暖房 再生可能エネルギー 地中熱の冷暖房
- ・タキロンマテックス(株)（インテリア） 岡本様
塩ビ 工場内リサイクル インテリアフロア工業会での取り組み
グリーン購入
- ・(株)スミノエ（インテリア） 清水
会社の基本理念 KKR+A（健康・環境・リサイクル+アメニティ：快適性）
例）リサイクルタイルカーペット ECOS CO2削減、埋め立てごみの削減
トリプルフレッシュ（消臭）・クレンゼ（抗ウィルス）等 室内環境の改善
- ・積水樹脂(株) 根来様
高速道路 防音目隠し屏
騒音対策ニーズに対する軽減製品で住み良い住環境に貢献
- ・ヒガノ(株) 古井様
レインカットECO グリーン購入

・大光電機(株) 和田様

省エネ LED 90%⇒2020年 100%

ストックはまだ20%ほど 店舗はすすんでいる。

オフィスは共用、専有部はなかなかすすまない。おそらく最後まで残るのは住宅。

・(株)ニッソー (タイル) 日東様

エコとコストの問題

・ケイエスシステム研究所 重岡様

パナソニック電工時代の社内省エネの話

省エネ 50%削減達成 (10年 続けることが重要)

エアコンの設定温度、ゴミの分別 20種類

登山客がゴミを持って帰るように しつけ・教育・・・草の根活動

・(株)山岸製作所 (家具) 山岸様

環境・健康

シックスクール 接着剤⇒子供への影響 ホルムアルデヒド

しっくい材料⇒家具で環境を守る。

・北陸支部石川地域会 北菱電機(株) 石野様

ペーパーレス化に取り組み

・三協立山(株)三協アルミ社 中嶋様

音に対する環境⇒騒音を遮断

開口部の環境技術 光の調整、断熱

結論は出ませんでしたが、話し合いの中から様々な学びがあったと思われます。

建築で環境問題に貢献できること・・・何ができるか⇒多くある

建築・・・各社の技術・製品・取り組みの集合体

『J I Aと強くなる』

『防災』グループまとめ

各支部・地域会からでた意見

- ・自然災害は防ぎ様がないが災害を少しでも軽減させる事是可以。
- ・自然災害に起因する災害が起こった直後は報道機関などで原因究明や今後の対応策など議論されますが、最終的には個々の判断になる事と、いつどのくらいのレベルの災害が起こるか誰にもわからないという事で、災害に見舞われた経験のない人々は時間と共に忘れてしまい、経験則を活かしきれていない。
- ・東北支部では、東日本の震災を忘れない様に毎年“宮城ボイス”のイベントを開催し、被災経験を今後活かしていこうという取り組みを行っていたり、防災対策として非難時の体育館などの壁に防護マットにし被災時にはベットとして使用できる様、提案している。(フェイスフリーの考え方)

今回のサミットで特に感じた事

本部・支部・地域会の正会員や協力会員のそれぞれが全国大会の時だけの繋がりではない為他の支部や地域会が何をしているのかまったく情報がない。
ただ、協力会員メンバーだけで解決できる問題ではなく、本部・支部・地域会の正会員幹部が主体となって協力会員と一緒に活動していく必要性を感じた。

JIA と共に強くなるためには

今年は、公益法人のスキャンダルが多く、今後、公益法人の社会的意義を求められる時代がくると思われます。

特に今年は色々な災害が起こっている事もあり、日本国民共通のキーワードの防災をテーマに本部・支部・地域会が連携しながらPR活動を行い、JIAの公益社団法人としての地位をさらに確立し一般の人々も含めた知名度を上げていく必要があるのではないかと感じた。

JIAの活動に関しては、公益社団法人という事もあり、ボランティア感覚での活動にならざるを得ない状況の為、なかなかPR活動は難しいかとは思いますが、そこを本部がリーダーシップを発揮し支部や地域会との情報交換など連携を密にし、一体となって取り組んで行かないと(口頭での勧誘が主体?)では会員減少の歯止めが利かなくなるのではないかと感じます。

JIAがリーダーシップを発揮して、他の団体(土木・地震・津波・構造など)と連携をとり、全国の各自治体によってバラバラの防災に関わる全ての事柄についてまとめていく。そこに全国の色々な協力会員のそれぞれの会社のノウハウを活用していく様なPR活動をし続け努力して行けば、社会的知名度が上がり、正会員及び協力会員数も増加していくのではないかと思います。

『まちづくり』グループまとめ

「高齢化・人口減少が進む地域の鉄道駅に、近郊に住む老人のための施設を作り、駅と老人施設を核にして駅前シャッター街の活性化をはかろう」という「まちづくり」の提案からワークショップが始まった。

「まちづくり」という横にも縦にも幅広くとらえることができるテーマであるが、参加したほぼ全ての方に「まちづくりについて考えることは何か」と聞いていった。

その意見を列記する。

- ・行政による未来を思い描いたまちづくりをすることが重要、ヴィジョンの提示とコンセンサス
- ・人口減少（いずれ東京も）、限界集落への行政サービス
- ・スクラップ&ビルドでない改修再利用、空き家対策（利用）、まちを引き継ぐ
- ・災害を考えたまちづくり
- ・まちづくりよりもインフラの整備と維持管理
- ・美しいインフラ、きれいな照明、光の色の調和
- ・塀や囲いがなくなる、反面プライバシーとセキュリティ
- ・所有からシェア
- ・地域の資産価値を下げないことが大切
- ・観光立国による民泊推進と住民の反対
- ・人手不足と外国人労働者とのコミュニケーション
- ・「物」消費から「こと」消費へ、まちおこし（祭、風習の再生）：富山市八尾地区のおわら風の盆の例
- ・まちづくりの雑誌は売れない
- ・まちづくりの前に人づくり
- ・建築士の減少、子供たちに建築の魅力を伝える
- ・建築家として何ができるか

時間の都合で、出た意見から議論をするところまではできなかった。発言は、要約すると上記であるが、発言した方の背景（人生、所属会社とその製品等）をうかがわせるもので、とても興味深かった。

協力会員サミットのワークショップを終えて、「J I Aとともに強くなる」が今年の協力会員サミットの主題であったが、協力会員がJ I Aにとって必須の存在であると、感じられた。

協力会員サミットの様子



J I A建築家大会2018東京協力会員サミット総括

2018年9月15日、全国大会では恒例になっております、協力会員サミットを開催いたしました。全国各支部から、協力会員・正会員合わせて計50名超の協力会員サミットになりました。(別紙参加者名簿参照)

今回のテーマは、『J I Aと強くなる』といたしました。趣旨としましては、協力会員の協力で日本建築家協会が信頼されるべき強い(頼られる)団体になること、そのことが如いては、その団体に所属する協力会員のステータスを上げることにつながるのではということです。

サブテーマを5つ決めて、それについて各グループに分けてフリートークをしました。雑談の中から、ヒントが出てくればと考えました。

キーワードは、『働き方』『健康』『環境』『防災』『まちづくり』です。

各グループ、20分程度議論をして、その後、司会者以外が違うテーブルに移り、違うテーマについて議論をするという、『ワールドカフェ風』の方式を採用しました。参加者全員が自ら話すことが重要でした。それぞれ、「何か言いたいけれどどう話してよいかわからない」というのが本音ではと感じていました。どのテーブルも、活発な議論ができていました。各テーブルとも盛り上がっていたように思います。

私が交流委員長になって、3年目ですが、2年前の大阪大会では、『J I Aにも物申す』と題して、J I Aの会員として協力会員がどうかかわっていくかを議論しました。昨年の徳島大会では、『協力会員と正会員の活発な協働に向けて』として、各支部の活動及び正会員との交流についての問題点、工夫されていること等ご報告がありました。それを踏まえて、今回は、協力会員より正会員に働きかけるということを考えてみました。話を聞くだけではなく“こちらから仕掛けていく”ということも大事なのではと考えており、その延長で、“自分から話す”、“実行していく”という流れを作っていければと思います。

今回の、協力会員サミットの開催にあたり、協力いただきました皆様にはたいへん感謝しております。いつもの雑談の中にも多数のヒントがあり、様々なご意見もいただきました。

結果、協力会員サミットを無事開催することができました。本当にありがとうございました。これからも、よろしくお願いいたします。

JIA 関東甲信越支部 交流委員会委員長 河野 剛陽